

ON



コメドオリ
生涯学習文化課 米通 課長補佐
(2003年入庁)

1979年生まれ、美唄市出身。

2003年～ 介護保険課（当時）

2007年～ 情報システム課（当時）

2013年～ 図書館 2015年～ 秘書課

2017年～ 職員課（当時）

2022年～ 企画課 2024年～ 現所属

Q1 所属部署の主な業務内容

市民の皆さんにより豊かな生活を送っていただくため、生涯学習活動の推進や文化・芸術振興事業の推進を担っています。こうしたソフト事業のほか、各団体の活動拠点となる帯広駅前にある「とかちプラザ」や「帯広市民文化ホール」の管理業務を行っています。

Q2 管理職としての工夫

いわゆる事業課であり、個々の職員が担当事業を持ち業務を進めています。問題を抱えていても見え難いため、ズボラな性格ですが、マメに声をかけるようにして相談しやすい雰囲気を作るようにしています。

Q3 マネジメントの面白いところ、難しいところ

異なる業務を俯瞰して見て、複数の担当職員を巻き込んで、一緒に課題解決や新しい仕事づくりに取り組める部分が面白さかなと思います。自分がプレーヤーではないので、どこまで手を出すか力加減が難しいところですね。

Q4 帯広市で働くことの魅力

都市の大きさに応じた仕事があるのと思いやりがある職員が多いと思います。休暇や育児休業、テレワーク、時差勤務等の制度を利用しやすい雰囲気があり、ワークライフバランスを実現しやすいと思います。

何か変えよう、何かやろう

Q1 帯広市の暮らしやすさ・魅力

それなりの規模がある学校や病院が近くにあるほか、公園が多くあるなど自然も身近に感じられる“ちょうどいい都市”というところですね。帯広市に住み始めた際、日常的にエゾリスに出会える環境には感動しました。会えると癒されます。

Q2 おすすめエリア・休日の過ごし方

おすすめは、遠くは日高山脈、そして帯広の森・十勝川・札内川に囲まれている帯広市のロケーションです。都市部から少し移動すると、その圧倒的な自然に触れられるところが魅力ですね。

休日には、日高山脈を眺めながらランニング、自転車に跨り帯広の森や十勝川をなぞるように走ってリフレッシュしています。時間がある時には、十勝管内の町村も走ります。

また、十勝川・札内川河川敷には競技それぞれのグラウンドが整備されていて、学生時代から継続しているラグビーをチームメイトや子どもと練習して汗を流しますね。

最後は、温泉に入って整えます。温泉は都市部に銭湯感覚で何件もあって、値段は驚愕の500円未満です。

OFF

